

製品安全データシート

作成年月日 2010 年 4 月 15 日

1. 製品名及び会社情報

製品名 床の手なおし 色つや復元コート 薄いブラウン
 会社名 株式会社リンレイ
 住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 4 丁目 10 番 13 号
 担当部門 秦野工場 生産技術課
 電話番号 0463-81-5455
 FAX 番号 0463-82-4700
 推奨用途 木床用ワックス

2. 危険有害性の要約

| | | |
|----------|--------------------|--------|
| 物理化学的危険性 | いずれも分類対象外 | |
| 人健康有害性 | 急性毒性(経口) | 分類対象外 |
| | 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入) | 分類できない |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分 3 |
| | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境有害性 | 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| | 水生環境慢性有害性 | 分類できない |

GHS のラベル要素

シンボル :
なし

注意喚起語 :
警告

危険有害性情報 :
軽度な皮膚刺激

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

| 成分名／化学名 | 含有量 wt% | CAS.No. | 化審法 No. | 安全衛生法 No. 通知対象物 | PRTR 法 No. 第 1 種、第 2 種 |
|---------------------------|------------|------------|---------|--------------------|---------------------------|
| 金属架橋型アクリル系樹脂 エマルジョン | 40-30 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| アクリル-ウレタン系共重合 樹脂エマルジョン | 10-20 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| エチルジグリコール | 5-10 | 111-90-0 | 2-422 | 非該当 | 非該当 |
| メチルプロピレンジグリコール | 2 | 34590-94-8 | 2-420 | 601 | 非該当 |
| 可塑剤 | 1-5 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 高融点ワックスエマルジョン | 1-5 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 界面活性剤 | 微量 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 消泡剤 | 微量 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 防腐剤 | 微量 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 顔料 | 微量 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 香料 | 微量 | 非公開 | — | 非該当 | 非該当 |
| 水 | 20-30 | 7732-18-5 | — | 非該当 | 非該当 |

4. 応急措置

目に入った場合

- ・こすらず直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外して目を洗浄すること。
- ・医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・皮膚を清浄な水で速やかに洗浄すること。
- ・外観に変化がみられたり、皮膚刺激がある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・空気の清浄な場所で安静にすること。
- ・気分が悪い時は医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・速やかに口をすすぎ、安静にして、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤:

小火災: 水、二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂等

大火災: 散水、噴霧水、泡消火剤

消化方法:

本製品は引火しない。なお、製品乾燥物に着火した場合には以下の処置をとる。

- ・可燃性の物を周囲から取り除く。
- ・適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。

消火を行う者の保護:

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
- 環境に対する注意事項： 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
地域の規則に従う。
- 回収方法： 少量の場合、乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。
大量の場合、土嚢等で拡散を防止し、凝集・凝固剤等で凝集措置をする。その後、回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
技術的対策： 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
一度、容器から出した液は元の容器へ戻さない。
容器はその都度密閉する。
- 安全な取扱い注意事項： 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。
保管
- 保管条件： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
凍結に注意する。
水禁忌性物質との同一場所保管を避ける。
- 混触危険物質： 「10.安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策
屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。
- 保護具
目の保護 :ゴーグル等を使用する。
皮膚および身体の保護 :皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。
呼吸系の保護 :保護マスク等を着用する。
- 衛生対策
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------|-----------------------|
| 物理的状态 | 茶褐色液体 |
| 臭気 | 弱い特異臭 |
| 水への溶解性 | 溶解 |
| 沸点 | 約 100°C |
| 蒸気圧 | ほぼ水と同じ |
| pH | 7.5±1.0 (@25°C) |
| 粘度 | 6.0±2.0 (mPa·s @25°C) |
| 比重 | 1.03±0.01 (@25°C) |
| 不揮発分 | 26.5±2.0 (wt%) |
| 引火点 | なし |
| 発火点 | なし |
| その他 | 特になし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------|
| 安定性 | 一般環境下で安定 |
| 危険有害反応の可能性 | なし |
| 避けるべき条件 | 低温 (5°C以下)、40°Cを超える環境 |
| 避けるべき材料 | 水禁忌物質との混合禁止 |
| 危険有害な分解生成物 | なし |

11. 有害性情報

| | | |
|-----------------|----|--|
| 急性毒性 | 経口 | 混合物分類方法つなぎの原則による LD50 (ラットを用いた経口投与試験) が 5000mg/kg 以上であることから区分外とした。 |
| | 経皮 | データ不足のため分類できない |
| | 吸入 | データ不足のため分類できない |
| 皮膚腐食性・刺激性 | | 区分 2 の原料を <10%、≥1% 含むため区分 3 とした。 |
| 眼に対する重篤な損傷制・刺激性 | | データ不足のため分類できない |
| 呼吸器感作性 | | データ不足のため分類できない |
| 皮膚感作性 | | データ不足のため分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | | データ不足のため分類できない |
| 発がん性 | | データ不足のため分類できない |
| 生殖毒性 | | データ不足のため分類できない |
| 特定標的臓器・単回暴露 | | データ不足のため分類できない |
| 特定標的臓器・反復暴露 | | データ不足のため分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | | データ不足のため分類できない |

12. 環境影響情報

| | |
|-------|----------------|
| 水生環境 | |
| 急性有害性 | データ不足のため分類できない |
| 慢性有害性 | データ不足のため分類できない |
| その他 | |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および
- ・関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。
- ・地方自治体の規則・基準に従う。

汚染容器・包装

- ・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・地方自治体の規則・基準に従う。

14. 輸送上の注意

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。

内陸水路輸送: 船舶安全法の定めに従う。

海上輸送: 船舶安全法の定めに従う。

航空輸送: 航空法の定めに従う。

15. 適用法令

| | |
|-----------|---|
| 消防法 | 該当しない |
| PRTR 法 | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | 文書交付の対象となる物質 601 メチルプロピレングリコール(1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2 プロパノール 2% |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 船舶安全法 | 該当しない |
| 航空法 | 該当しない |

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7250-2005 化学物質安全データシート

JIS Z7252 GHS に基づく化学物質の分類方法

(注意) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。